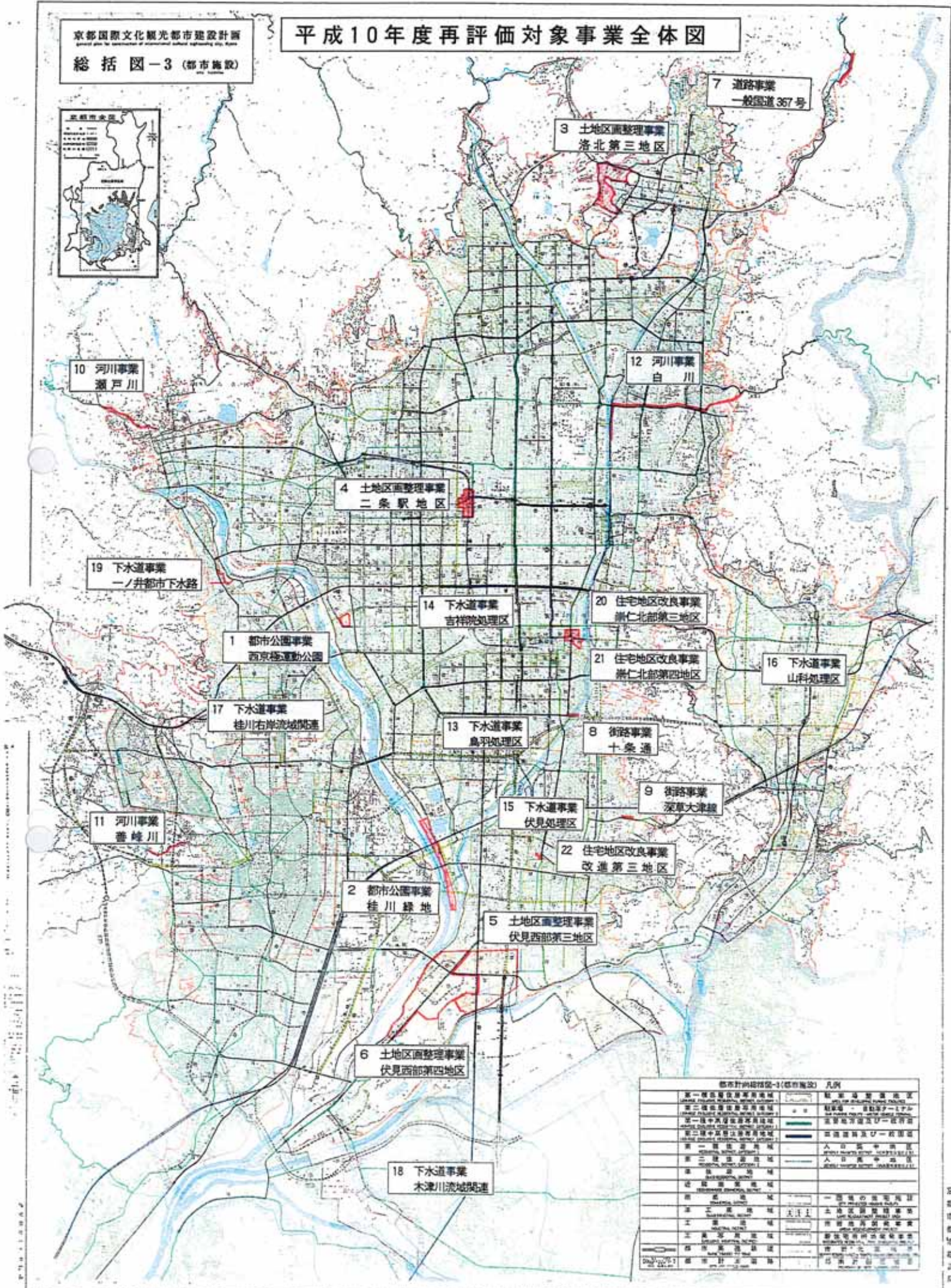


平成 10 年度京都市公共事業再評価対象事業一覧

- 区分① 事業採択後 5 年を経過した後も未着工の事業
 区分② 事業採択後 10 年を経過した時点で継続中の事業
 区分③ 事業の進捗状況や社会情勢の急激な変化による事業

種 別		番号	事業名	区分	対応方針
都 市 公 園 事 業		1	西京極運動公園	②	「事業継続」
		2	桂川緑地	②	「事業継続」
土地区画整理事業		3	洛北第三地区	①	「事業継続」
		4	二条駅地区	②	「事業継続」
		5	伏見西部第三地区	②	「事業継続」
		6	伏見西部第四地区	②	「事業継続」
道 路 ・ 街 路 事 業		7	一般国道 367 号	②	「事業継続」
		8	十条通	②	「事業継続」
		9	深草大津線	②	「事業継続」
河 川 事 業		1 0	瀬戸川	②	「事業継続」
		1 1	善峰川	②	「事業継続」
		1 2	白川	②	「事業継続」
下水道事業	単 独 公 共 下 水 道	1 3	鳥羽処理区	②	「事業継続」
		1 4	吉祥院処理区	②	「事業継続」
		1 5	伏見処理区	②	「事業継続」
		1 6	山科処理区	②	「事業継続」
	流 域 関 連 公 共 下 水 道	1 7	桂川右岸	②	「事業継続」
		1 8	木津川	②	「事業継続」
	都 市 下 水 路	1 9	一ノ井	②	「事業継続」
住宅地区改良事業		2 0	崇仁北部第三地区	②	「事業継続」
		2 1	崇仁北部第四地区	②	「事業継続」
		2 2	改進第三地区	②	「事業継続」
合 計			2 2 事業		

平成10年度再評価対象事業全体図



都市計画図解説-3(都市施設) 凡例	
第一種市街地再開発区域	第一種市街地再開発区域
第二種市街地再開発区域	第二種市街地再開発区域
第三種市街地再開発区域	第三種市街地再開発区域
第四種市街地再開発区域	第四種市街地再開発区域
第五種市街地再開発区域	第五種市街地再開発区域
第六種市街地再開発区域	第六種市街地再開発区域
第七種市街地再開発区域	第七種市街地再開発区域
第八種市街地再開発区域	第八種市街地再開発区域
第九種市街地再開発区域	第九種市街地再開発区域
第十種市街地再開発区域	第十種市街地再開発区域
第十一種市街地再開発区域	第十一種市街地再開発区域
第十二種市街地再開発区域	第十二種市街地再開発区域
第十三種市街地再開発区域	第十三種市街地再開発区域
第十四種市街地再開発区域	第十四種市街地再開発区域
第十五種市街地再開発区域	第十五種市街地再開発区域
第十六種市街地再開発区域	第十六種市街地再開発区域
第十七種市街地再開発区域	第十七種市街地再開発区域
第十八種市街地再開発区域	第十八種市街地再開発区域
第十九種市街地再開発区域	第十九種市街地再開発区域
第二十種市街地再開発区域	第二十種市街地再開発区域

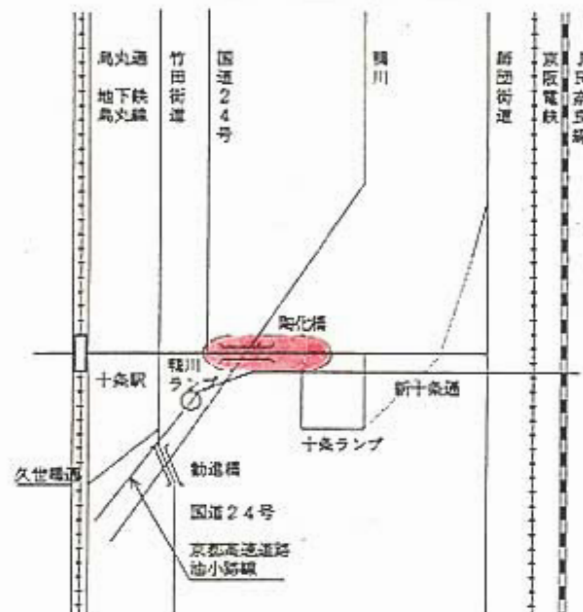
平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

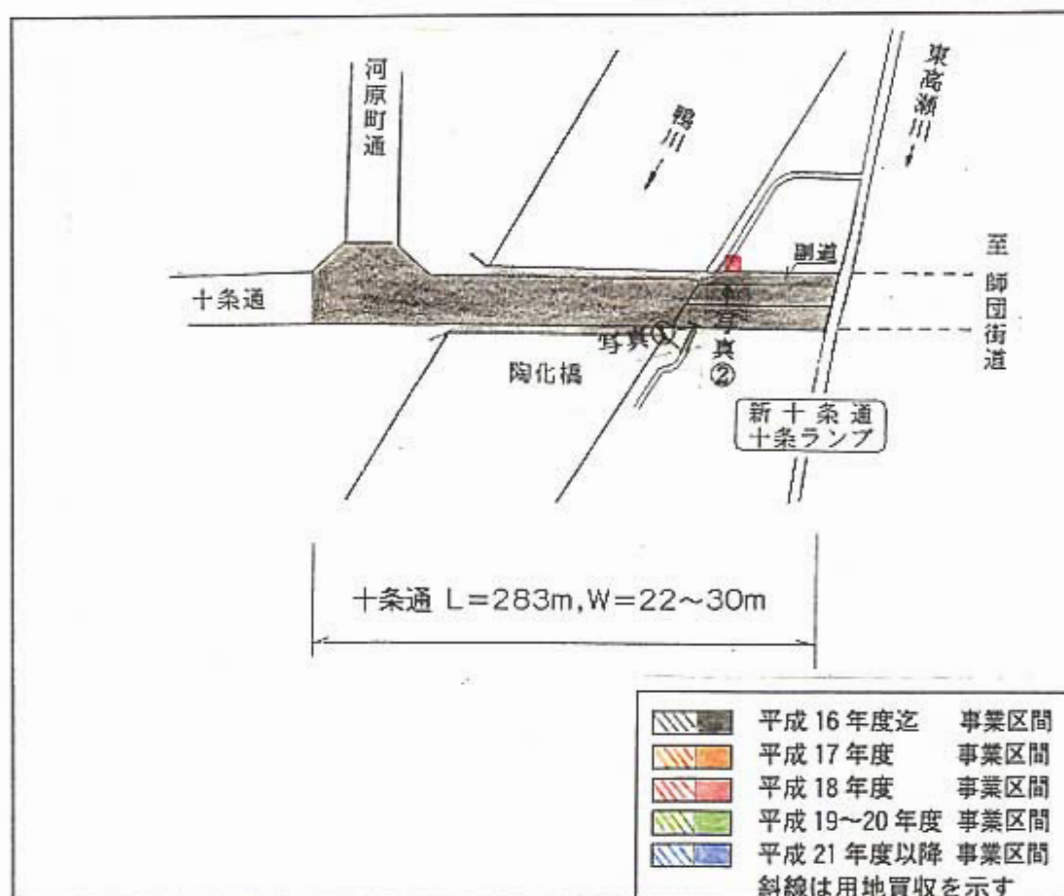
事業名	I・III・18十条通			事業所管課	広域幹線道路課
事業区間	自：京都市東山区福稲川原町 至：京都市南区東九条柳下町			延長及び幅員	延長L＝283m 幅員W＝22～30m
事業採択年度	昭和63年度		完成予定年度	当初：平成11年度 変更：平成20年度	
事業進捗					
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度	平成19年度以降
工事	L＝283m C＝1,052.3百万円	L＝283m C＝1,034.9百万円	L＝0m C＝0百万円	L＝40m C＝9.6百万円	L＝283m C＝7.8百万円
用地	A＝1,255㎡ C＝1,682.4百万円	A＝1,233㎡ C＝1,681.3百万円	A＝0㎡ C＝0百万円	A＝22㎡ C＝1.1百万円	A＝㎡ C＝0百万円
その他	測量委託 C＝125.3百万円	C＝124.9百万円	C＝0百万円	C＝0.3百万円	C＝0.1百万円
計	C＝2,860百万円	C＝2,841.1百万円	C＝0百万円	C＝11百万円	C＝7.9百万円
進捗率		99.3%	99.3%	99.7%	100.0%
平成10年度再評価時点での課題、問題点					
・ 事業用地（本線部）の買収は、平成8年度までに完了している。 ・ 京都高速道路（新十条通）の事業完成年度に合わせて、残事業区間である鴨川橋梁部（陶化橋）東側の十条通本線整備を進めている。しかし、現道交通の切替えが生ずるので、京都高速道路（新十条通）及び周辺街路との事業進捗を調整する必要があるため、十条通（第2工区）及び新十条通（伏見工区）で一部用地買収が未了であるため、残事業区間の工事着手が出来ない。					
平成17年度取組					
平成17年度取組は、陶化橋東詰交差点の改良に伴い、地権者（土地所有者、借家人）と用地買収交渉を行った。 なお、十条通の工事進捗率 98.3%（平成18年3月末）である。					
平成18年度以降取組					
当面の目標 十条通は、既に4車線とも完成しているが、現在、北側2車線での暫定供用を行っている。4車線での供用は、十条通に接続する関連道路（京都高速道路新十条通）の完成時期（H20.5）に合わせて行う。 平成18年度は、陶化橋東詰交差点の用地買収と交差点改良工事を行う。					
事業効果 現在、建設中である京都高速道路（新十条通）及び鴨川東岸線とを接続する幹線道路として、交通の円滑化と地域の活性化に寄与する。					
発現年度 平成20年度					

事業名：Ⅰ・Ⅲ・18 十条通

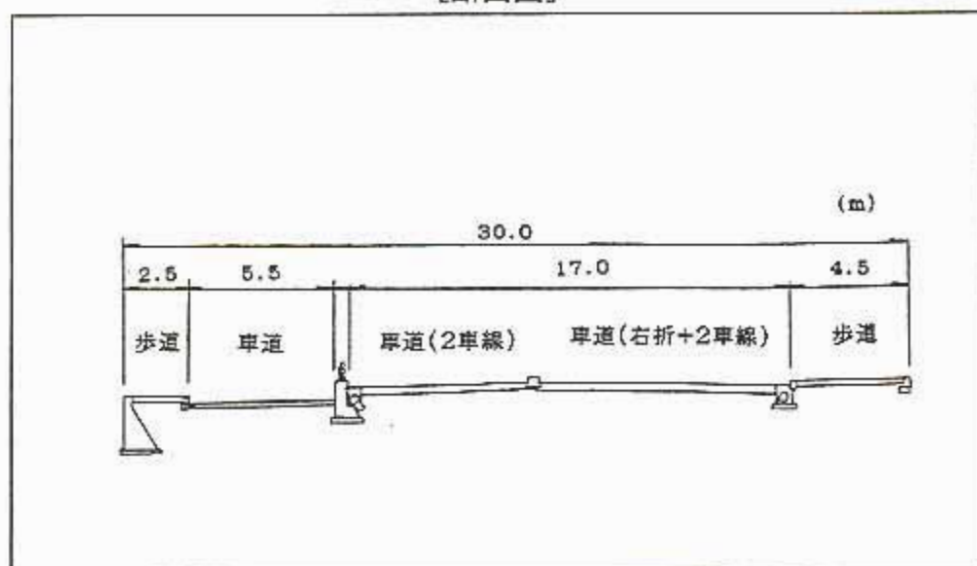
〔箇所図〕



〔模式図〕



〔断面図〕



〔現況写真〕

写真①



写真②



平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		単独公共下水道事業（鳥羽処理区）		事業所管課	京都市上下水道局下水道部 計画課
事業区間		京都市北区，上京区，左京区，中京区，東山区，下京区，南区，右京区，伏見区		延長及び幅員	面積 8，221ha
事業採択年度		昭和10年度		完成予定年度	当初： 変更：平成20年度
事業進捗					
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度(予定)	平成19年度以降
整備面積	8,221ha	8,191ha	9ha	2ha	19ha
進捗率	100 %	99.6%	99.7%	99.8%	100%
平成10～16年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今までに蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を継続的に果たしていくとともに，より快適な水環境の保全・創造を視野に入れて，高度処理，雨水整備，合流式下水道の改善,老朽施設の改築更新など,新たな施策に取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成20年をめどに検討する。					
平成17年度の実績 （管渠・ポンプ場） ・ 汚水整備：岩倉地区等9ha ・ 雨水整備：有栖川中央幹線，有栖川北幹線，有栖川ポンプ場等の整備 ・ 合流式下水道の改善：堀川中央幹線，東堀川1号分流幹線，西堀川1号分流幹線等の整備（鳥羽水環境保全センター） ・ 改築・更新：汚砂洗浄機械，電気機械設備更新					
平成18年度以降の実績 当面の目標 ・ 残区域の汚水整備 ・ 雨水整備,合流式下水道の改善,高度処理,汚泥処理,改築・更新,地震対策 事業効果 ・ 快適で安全な生活環境の実現 ・ 浸水安全度の向上 ・ 市内河川の水環境の向上 ・ 淀川・大阪湾の水質改善 ・ 汚泥の有効利用 ・ 老朽化した施設や設備の機能維持 ・ 地震等の災害時の機能確保					

平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		単独公共下水道事業（吉祥院処理区）		事業所管課		京都市上下水道局下水道部 計画課	
事業区間		京都市上京区，中京区，下京区，南区		延長及び幅員		面積 5 8 7 h a	
事業採択年度		昭和 5 年度		完成予定年度		当初： 変更： 平成 2 0 年度	
事業進捗							
年度	全体事業		平成 16 年度以前	平成 17 年度	平成 18 年度(予定)		平成 19 年度以降
整備面積	587ha		587 ha	0ha	0ha		0ha
進捗率	100 %		100%	100%	100%		100%
平成 1 0 ～ 1 6 年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今までに蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を継続的に果たしていくとともに，より快適な水環境の保全・創造を視野に入れて，高度処理，雨水整備，合流式下水道の改善,老朽施設の改築更新など,新たな施策に取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成 2 0 年をめどに検討する。							
平成 1 7 年度の実績 （吉祥院水環境保全センター） ・ 改築・更新 A 系汚水ポンプ電動機設備更新							
平成 1 8 年度以降の実績 当面の目標 ・ 合流式下水道の改善,高度処理,改築・更新,地震対策 事業効果 ・ 快適で安全な生活環境の実現 ・ 浸水安全度の向上 ・ 市内河川の水環境の向上 ・ 淀川・大阪湾の水質改善 ・ 老朽した施設や設備の機能維持 ・ 地震等の災害時の機能確保							

平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		単独公共下水道事業（伏見処理区）		事業所管課		京都市上下水道局下水道部計画課		
事業区間		京都市東山区，伏見区			延長及び幅員		面積 2，081ha	
事業採択年度		昭和41年度		完成予定年度		当初： 変更：平成20年度		
事業進捗								
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度(予定)	平成19年度以降			
整備面積	2，081ha	1，912 ha	0ha	0ha	169ha			
進捗率	100 %	91.9%	91.9%	91.9%	100%			
平成10～16年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今までに蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を継続的に果たしていくとともに，より快適な水環境の保全・創造を視野に入れて，高度処理，雨水整備，合流式下水道の改善,老朽施設の改築更新など,新たな施策に取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成20年をめどに検討する。								
平成17年度の実績 （管渠・ポンプ場） ・ 汚水整備 ・ 改築・更新 （伏見水環境保全センター） ・ 高度処理：オゾン処理設備 ・ 改築・更新：特高電気棟新築								
平成18年度以降の実績 当面の目標 ・ 残区域の汚水整備 ・ 合流式下水道の改善,高度処理,改築・更新,地震対策 事業効果 ・ 快適で安全な生活環境の実現 ・ 浸水安全度の向上 ・ 市内河川の水環境の向上 ・ 淀川・大阪湾の水質改善 ・ 老朽した施設や設備の機能維持 ・ 地震等の災害時の機能確保								

平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		単独公共下水道事業（山科処理区）		事業所管課		京都市上下水道局下水道部 計画課	
事業区間		京都市東山区，山科区，伏見区		延長及び幅員		面積 2，068ha	
事業採択年度		昭和51年度		完成予定年度		当初： 変更：平成20年度	
事業進捗							
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度(予定)	平成19年度以降		
整備面積	2,068ha	2,033ha	2ha	0ha	33ha		
進捗率	100%	98.3%	98.4%	98.4%	100%		
平成10～16年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今までに蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を永続的に果たしていくとともに，より快適な水環境の保全・創造を視野に入れて，高度処理，雨水整備，老朽施設の改築更新など,新たな施策に取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成20年をめどに検討する。							
平成17年度の実績 （管渠・ポンプ場） ・ 汚水整備 ・ 雨水整備 （石田水環境保全センター） ・ 高度処理：A系反応タンク機械・電気設備等 ・ 改築・更新：汚水沈砂池機械・電気設備等							
平成18年度以降の実績 当面の目標 ・ 残区域の汚水整備 ・ 雨水整備,改築・更新,地震対策・高度処理 事業効果 ・ 快適で安全な生活環境の実現 ・ 浸水安全度の向上 ・ 市内河川の水環境の向上 ・ 老朽した施設や設備の機能維持 ・ 地震等の災害時の機能確保							

平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		桂川右岸流域関連公共下水道事業		事業所管課		京都市上下水道局下水道部 計画課	
事業区間		京都市西京区，南区，伏見区		延長及び幅員		面積 2，527ha	
事業採択年度		昭和48年度		完成予定年度		当初：平成15年度 変更：平成21年度	
事業進捗							
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度(予定)	平成19年度以降		
整備面積	2,527ha	2,229ha	4ha	4ha	290ha		
進捗率	100 %	88.2 %	88.4%	88.5 %	100%		
平成10～16年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今までに蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を継続的に果たしていくとともに，雨水整備にも取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成20年をめどに検討する。							
平成17年度の実績 (管渠・ポンプ場) ・ 汚水整備：嵐山等4ha ・ 雨水対策：西羽束師川幹線の整備							
平成18年度以降の実績 当面の目標 ・ 残区域の汚水整備 ・ 雨水整備 事業効果 ・ 快適で安全な生活環境の実現 ・ 浸水安全度の向上 ・ 市内河川の水環境の向上							

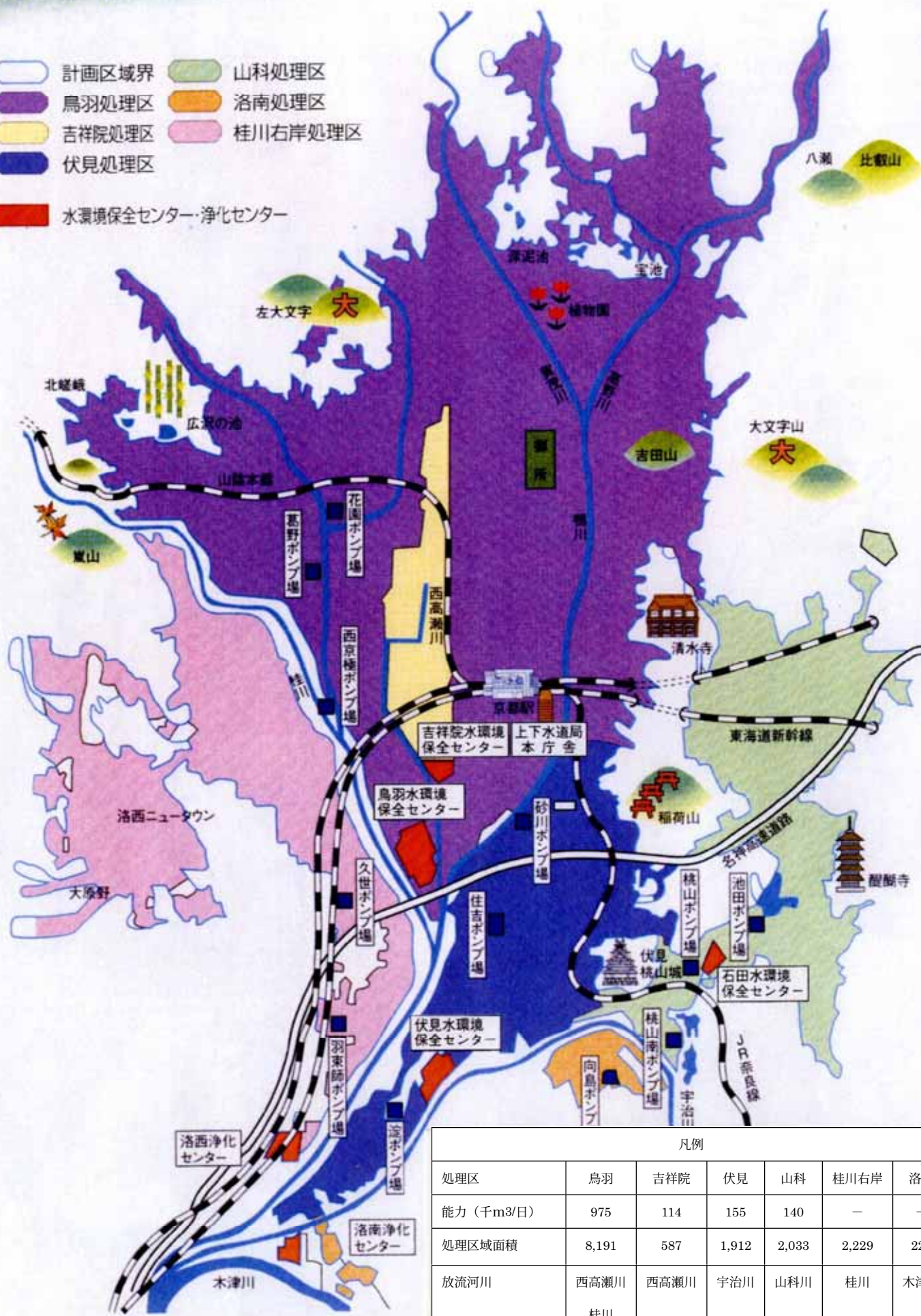
平成10年度再評価事業フォローアップ調査

(平成18年3月末)

事業名		木津川流域関連公共下水道事業		事業所管課		京都市上下水道局下水道部 計画課	
事業区間		京都市伏見区		延長及び幅員		面積 226ha	
事業採択年度		昭和61年度		完成予定年度		当初：平成15年度 変更：平成18年度	
事業進捗							
年度	全体事業	平成16年度以前	平成17年度	平成18年度(予定)	平成19年度以降		
整備面積	226ha	223ha	2ha	0ha	1ha		
進捗率	100%	98.7 %	99.6%	99.6%	100%		
平成10～16年度再評価時点での課題，問題点 ・ 今まで蓄積してきた下水道施設を生かしながら，市民のライフラインとしての下水道の役割を永続的に果たしていくとともに，雨水整備にも取り組んでいかなければならない。 ・ 新たな視点として,例えば雨水整備等,個別の事業項目ごとに評価するなど,再評価の内容や手法について平成20年をめどに検討する。							
平成17年度の実績 ・ 汚水整備							

京都市の処理区

- 計画区域界
- 山科処理区
- 鳥羽処理区
- 洛南処理区
- 吉祥院処理区
- 桂川右岸処理区
- 伏見処理区
- 水環境保全センター・浄化センター



凡例						
処理区	鳥羽	吉祥院	伏見	山科	桂川右岸	洛南
能力 (千m ³ /日)	975	114	155	140	—	—
処理区域面積	8,191	587	1,912	2,033	2,229	223
放流河川	西高瀬川 桂川	西高瀬川	宇治川	山科川	桂川	木津川
敷地面積 (h a)	46.0	2.9	13.4	8.76	—	—